

システムバスルーム用

浴室テレビ (24型ワイド)

BTV-2400DBC

注意

機器に同梱されている引き渡し部材（リモコン、リモコンホルダー、ボタン電池（CR2032）、取扱説明書、miniB-CASカード、B-CASカードご利用方法の冊子）は、浴室テレビの重要な部材です。取付完了後、お客様または建築工事責任者さまへ確実にお渡しください。

取付前の注意

- 取付けに際しては、必ずこの取付説明書に従い、正しく作業してください。

取付けにあたっての注意

- 作業は手袋着用の上行ってください。浴槽、防水パン等 FRP 裏面、および金属部品等の端部は取扱いにご注意ください。
- テレビ本体前面に工具など硬いものをぶつけないでください。

目次

| | |
|-----------------------------|--------|
| 1.安全上のご注意..... | P1~2 |
| 2.取付前の建築側への依頼事項..... | P3 |
| 3.工具..... | P3 |
| 4.部材の確認..... | P4~5 |
| 5.システム図・配線図..... | P6 |
| 6.ユニットバスとの取付けの進め方..... | P7 |
| 7.取付手順 | |
| 1.壁パネルの穴開口..... | P8 |
| 2.中継ケーブルの壁への仮止め..... | P9 |
| 3.浴室テレビ本体の取付け..... | P10 |
| 4.電源ボックスの取付け・中継ケーブルの接続..... | P12 |
| 5.フルデジタルサウンドシステムとの接続..... | P13 |
| 8.電気工事(電気工事業者さまの作業範囲) | |
| 1.電源ケーブル、アンテナ線の接続..... | P14 |
| 2.外部機器接続コードセットの壁への取付け..... | P15 |
| 9.リモコンを準備する..... | P16 |
| 10.試運転(電気工事業者さまの作業範囲) | |
| 1.かんたん初期設定..... | P17~19 |
| 2.動作確認..... | P20~22 |

1. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
取付けの前に、この安全上のご注意をお読みの上、正しく作業してください。

表示マークおよび絵表示の説明

◎表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のマークで区別し、説明しています。



警告

「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」



注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



「注意しなさい！」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。警告)必ずお読みになり、記載事項をお守りください。



「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)



「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

警告



電気工事は電気設備技術基準、内線規程等関連する法令・規程に従って、必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行ってください。
※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電を引き起こす恐れがあるほか、関係法令により処罰等されることがあります。



電源線等各配線に、以下のことをしないでください。
・キズつける。・無理に曲げる。・無理な力を加える。・束ねる。
・重いものを載せる。・挟み込む。
※火災、漏電や故障の恐れがあります。



電源ケーブルや各ケーブル等の配線は、照明器具(ダウンライト等)や暖房機等熱器具から離して設置してください。
※器具の熱で配線が溶断し、火災や漏電の恐れがあります。



分解や改造しないでください。
※感電や漏電、火災の恐れがあります。



電源ボックスは水滴がかかる場所に設置しないでください。また、水の入ったものを電源ボックスの上に置かないでください。
※感電や漏電、火災の恐れがあります。



電源ボックスは防露材(断熱材、保温材)で覆わないでください。
※電気部品が過熱し、発煙発火する恐れがあります。

注意



強い衝撃を与えたり、落下させないでください。
※動作・外観が正常な場合でも内部の防水構造が壊れている可能性があります。



取付けはこの取付説明書に従って確実に行ってください。(感電、火災、水漏れの原因になります。)
※この取付説明書に記載されていない方法で取付けされ、それが原因で故障が生じた場合は商品の保証をしかねますのでご注意ください。



ケーブルは無理に引っ張らないでください。
※浴室テレビ本体、電源ボックス、中継ケーブルの各ケーブルの先端は、細い電線とコネクターになっています。取付けの際、無理に引っ張るなど強い力を加えると、断線し故障の原因となります。



テレビ本体前面に工具など硬いものをぶつけないでください。
※傷が付いて本体交換となります。

取付前のご注意

スチームサウナ等、高温（50℃を超える）になる場合には取り付けられません。

一次側に必ず漏電遮断器を設置してください。

受信チャンネルは、地上デジタル放送（011～528チャンネル）、BSデジタル放送（001～999チャンネル）、110度CSデジタル放送（001～999チャンネル）です。
地上アナログ放送、ワンセグ放送、ラジオは受信できません。

特殊薬品を使用する場所へは取り付けられません。

電気工事のご注意

ユニットバス天井裏に設置する電源ボックスの取付位置まで、テレビアンテナ線が配線されていることをご確認ください。

2. 取付前の建築側への依頼事項

取付けに先立って、あらかじめ次の事項を建築側（工務店さま、電気工事業者さま）へ依頼しておいてください。

- 一次電源側には必ず漏電遮断器を設置してください。（漏電遮断器は材工共に別途です。）
- 一次側電源用のケーブルは電気工事業者さまにてご手配ください。
- 一次側電源には商用電源（AC 100V 50/60Hz）をお使いください。
- D種接地工事は、必ず行ってください。
- 地上デジタル放送の放送局に向けて、地上デジタル放送に対応したアンテナを設置する必要があります。
- 地上デジタル放送に対応したアンテナ線、ブースター、分配器、混合器等が必要になる場合があります。
- 落雷に備えてアンテナ設備にアースを取り、保安器を必ず設置してください。
- 放送エリア内であっても、地形やビル等により電波が遮られ、視聴できない場合があります。
- CATVの地上デジタル放送がパススルー方式の場合は視聴できます。
- BS・110度CSデジタル放送の放送局に向けて、BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナを設置する必要があります。
- BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナ線、ブースター、分配器、混合器等が必要になる場合があります。
- アンテナ線の事前配線は電気工事業者さまにてご手配ください。
- 浴室テレビ用アンテナ線はユニットバス取付前にユニットバスの天井裏まで配線しておいてください。
- 外部機器接続コードセットを設置する場合、事前にAVコンセントの取付位置の確認をしてください。

3. 工具



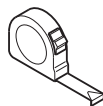
脚立(大・小)



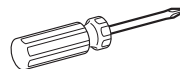
シリコン



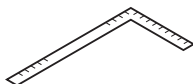
シーリングガン



スケール



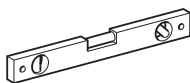
ドライバー(+)(-)



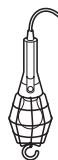
曲尺



コードリール



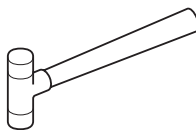
水平器



作業灯



ガムテープなど
(KG-K11)



プラスチック
ハンマー



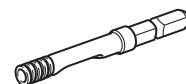
電動ドリルφ6
タイル用ドリル刃(φ6)



電動ドリル用
φ30ホールソー
<タイルパネルの場合>
φ30電着ダイヤモンド
ホールソー

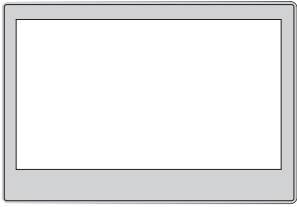
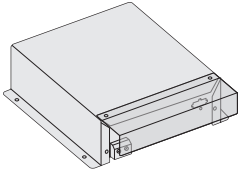
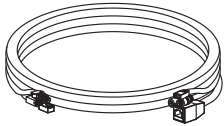
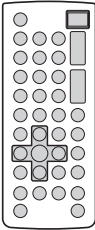
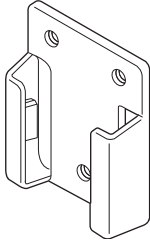
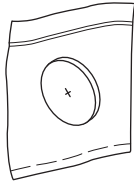

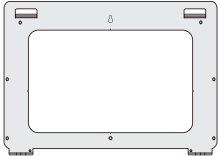

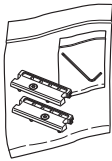

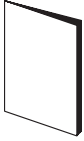



鋼板パネル用
キリφ6
(KG-K10)



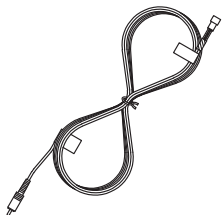
タイルパネル用キリφ6
(KG-K14)
キリφ6・φ10セット
(KG-K16-SET)

4. 部材の確認 (梱包内容を確認してください)

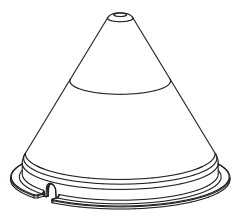
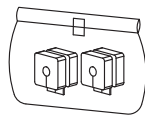
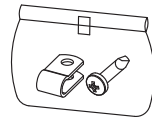
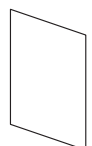
| 24 型浴室テレビ (BTV-2400DBC) | | | |
|-------------------------|---|---|--|
| 名称 | テレビ本体 | 電源ボックス | 中継ケーブル |
| 形状 |  |  |  |
| 数量 | 1 | 1 | 1 |
| 名称 | リモコン | リモコンホルダー | リモコン用ボタン電池 |
| 形状 |  |  |  ※ボタン電池 (CR-2032) 動作確認用 |
| 数量 | 1 | 1 | 1 |
| 名称 | miniB-CAS カード | 取付金具 | 取付ビス M4 × 20 |
| 形状 |  |  |  |
| 数量 | 1 | 1 | 10 |
| 名称 | 取付化粧パーツ + 六角レンチ (3mm) | 注意チラシ (本体貼付け) | 取扱説明書 |
| 形状 |  |  |  |
| 数量 | 1 | 2 | 1 |
| 名称 | 取付説明書 | | |
| 形状 |  | | |
| 数量 | 1 | | |

【別売部材】

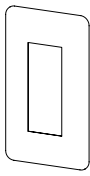

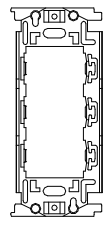
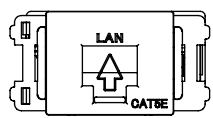
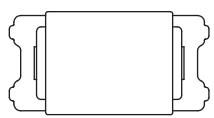
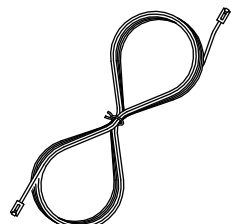
サウンドシステムと接続する場合

| テレビ接続コード (BAB-3A-C2) | |
|----------------------|---|
| 形状 |  |
| 数量 | 1 |

サウンドシステムでスピーカーカバーを使用する場合

| スピーカーカバーセット (BAB-2A-BC) | | | | |
|-------------------------|---|---|---|---|
| 名称 | スピーカーカバー | ブッシング | コードクランプ + ドリルねじ | 施工チラシ |
| 形状 |  |  |  |  |
| 数量 | 2 | 1 | 1 | 1 |

LAN を使って外部機器と接続する場合

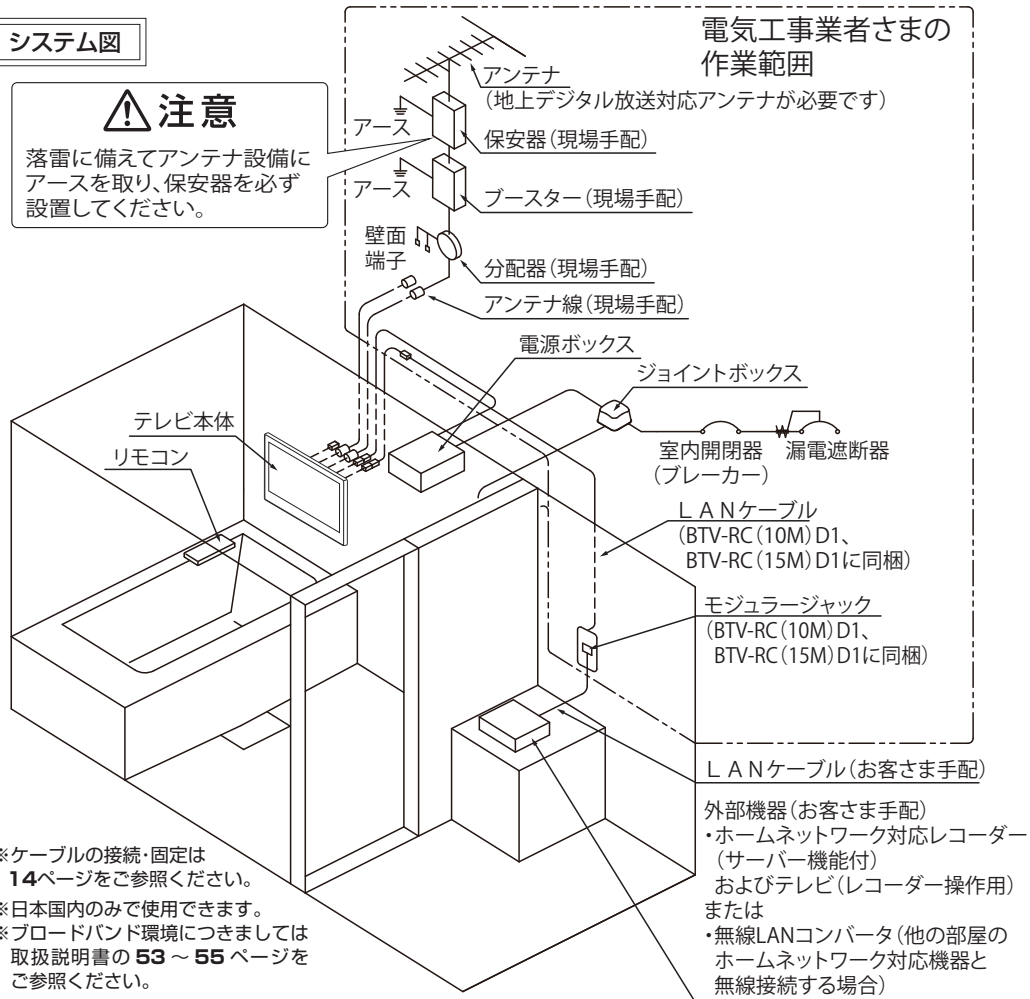
| 外部機器接続コードセット(ホームネットワーク専用) (BTV-RC(10M)D1またはBTV-RC(15M)D1) | | | | |
|---|--|---|---|---|
| 名称 | スイッチプレート | 取付枠 | モジュージャック | ブランクチップ |
| 形状 |  プレートカバー  プレート枠 |  |  |  |
| 数量 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 名称 | LAN ケーブル | | | |
| 形状 |  | | | |
| 数量 | 1 | | | |

5. システム図・配線図

システム図

⚠ 注意

落雷に備えてアンテナ設備にアースを取り、保安器を必ず設置してください。

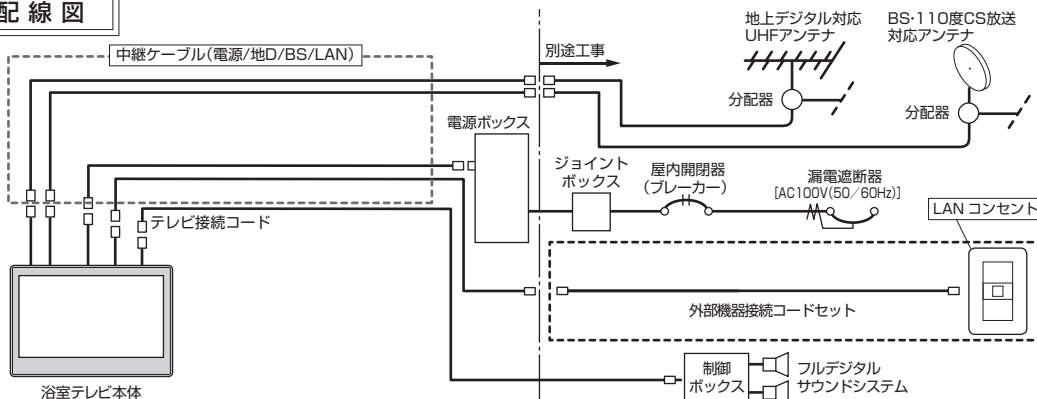


- ※ケーブルの接続・固定は14ページをご参照ください。
- ※日本国内のみで使用できます。
- ※ブロードバンド環境につきましては取扱説明書の53～55ページをご参照ください。



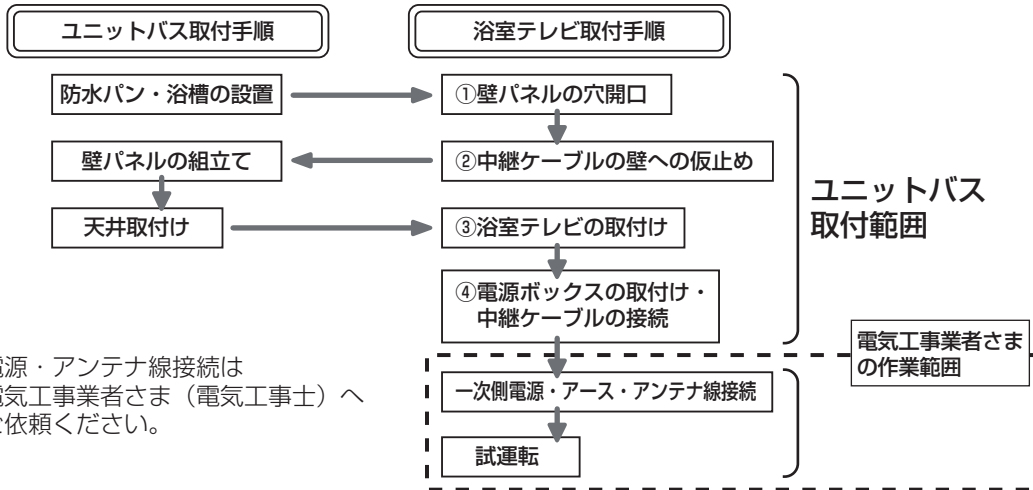
工事の際は、必ず屋内開閉器(ブレーカー)および漏電遮断器を設置してください。

配線図



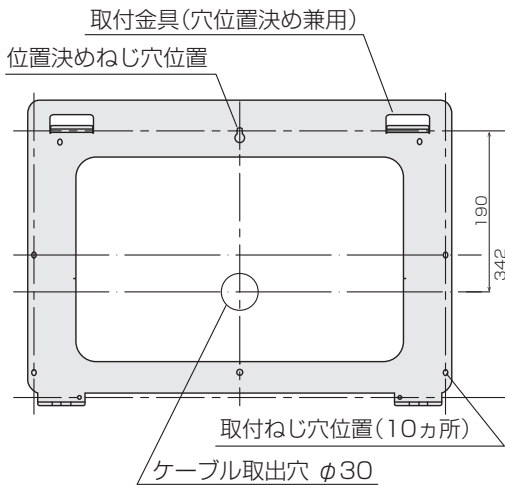
※アンテナ端子への入力電界は地上デジタル放送は -40dBm 、BS・110度CSデジタル放送は -35dBm をめやすにしてください。C/N値は25dB以上が必要です。地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送が混合されている場合は、分波器をご使用ください。

6. ユニットバスとの取付けの進め方



7. 取付手順

7.1. 壁パネルの穴開き



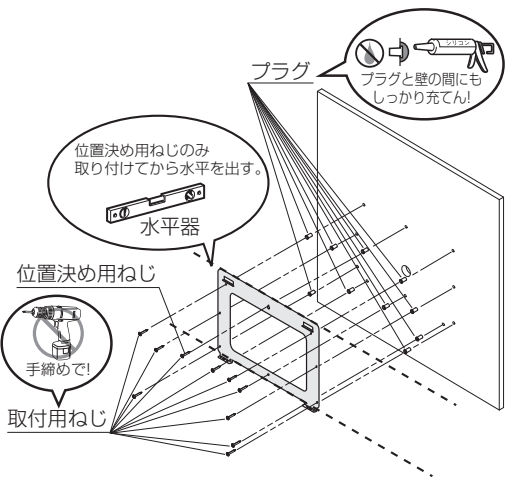
- ①位置決めねじ穴位置をけがき、穴をあけてください。
- ②取付金具を位置決め穴を使用し、仮固定します。
壁パネルの種類に合わせたねじを使用してください。
- ③水平を確認しながら、壁にその他の穴をけがき、開口後、取付金具を取り付けてください。

【ポイント】

- ・ケーブル取出穴はφ30、ねじ穴はφ6の穴あけを行う。
- ・ケーブル取出穴は浴室テレビ本体の中心位置から36mm下に開ける。
- ・タイル壁(プラグ不要タイプ)のφ6の穴を開けるときはタイル壁の鋼板まで貫通させないようにする。



位置決め穴開口位置はユニットバス側の取付説明書および仕様図をご参照ください。



| 壁パネルの種類 | 取付用ねじ | ねじ穴径 |
|--------------------|---|------|
| 鋼板壁 | 付属のタッピンねじ 4×20 | φ6 |
| タイル壁 (プラグ不要タイプ) | 部材箱内のタイル パネルねじセット のとがり先ねじ 4.2×38 | |

【ポイント】

- ・壁パネルの種類に合わせたねじを使用してください。
- ・プラグを下穴に打ち込み、シリコンを充てんしてください。
- ・タイル壁(プラグ不要タイプ)の場合は、プラグは使用せずにシリコンを充てんしてください。
- ・取付用ねじは手締めで取り付けてください。



ケーブル取出穴は、シリコンでふさがないでください。
※結露して、浴室テレビが故障する恐れがあります。

【ポイント】

取付位置を変更する場合は、以下のことにご注意ください。

- ・浴室テレビ本体は、周囲75mmの範囲に他部材等が入らない位置、水栓の吐水口等可動する部材と干渉しない位置に取り付けてください。
- ・タイル壁の場合はケーブル取出穴やねじ穴と壁裏フレームとの干渉やタイル目地とのクリアランスにご注意ください。
- ・シャワーの水(お湯)や水しぶきが直接かからない場所に取り付けてください。
- ・屋外から直射日光が当たる場所への取付けは避けてください。
- ・浴室乾燥機のある浴室に取り付ける場合は、温風が直接当たらない場所をお選びください。
- ・浴室照明が画面に映り込まない場所をお選びください。

7.2. 中継ケーブルの壁への仮止め

- ① テレビと接続するケーブル類をケーブル出穴から通してください。
通したケーブル類の反対側を壁パネル上部から浴室側にたらしめてください。
- ② 壁裏面でガムテープなどで中継ケーブル等を仮止めしてください。

⚠ 注意



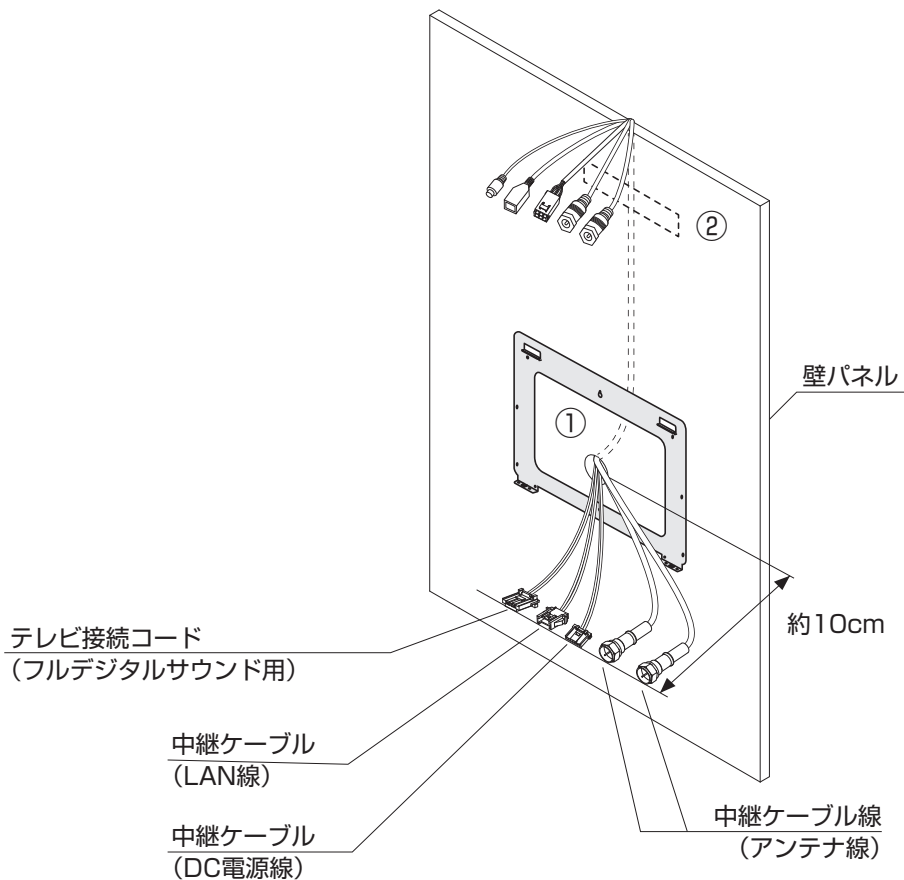
必ず行う

断熱材に発泡ウレタン(現場吹き付け)を使用する場合は、サイズ22以上の電線管(PF管)を使用してください。

電線管を使用しないと、万一故障が発生したとき、メンテナンスができなくなります。

ケーブル類を強固に固定しないでください。故障の際にケーブルの交換ができなくなります。

※ユニットバス内に取り込む中継ケーブル等の引き出し長さは、類取出穴から最短のケーブルで、10cm程度としてください。



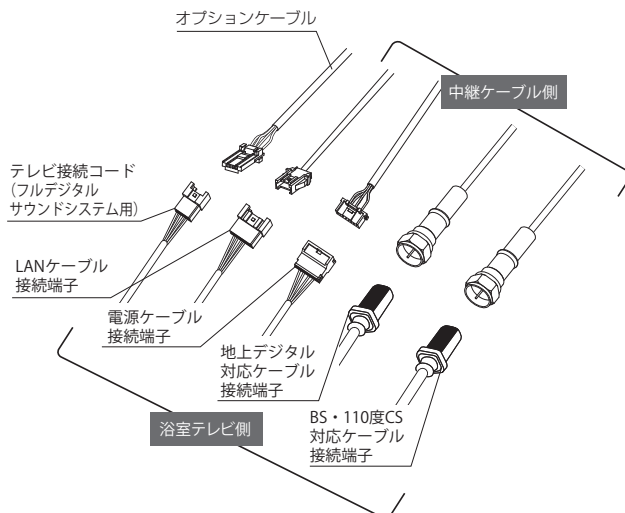
注)ここから先の工程は、浴室テレビのキズ付きや破損を防ぐため、天井取付後に行ってください。

7.3. 浴室テレビ本体の取付け

①浴室テレビ本体のケーブルを、先に取り込んだ中継ケーブル・テレビ接続コード（オプション品）と色、形状があうように接続してください。

※フルデジタルサウンドシステムありの場合はテレビ接続コードを接続してください。

※テレビ接続コードを使用しない場合、浴室テレビ本体側の音声出力コネクタは使用しません。



⚠ 注意



禁止

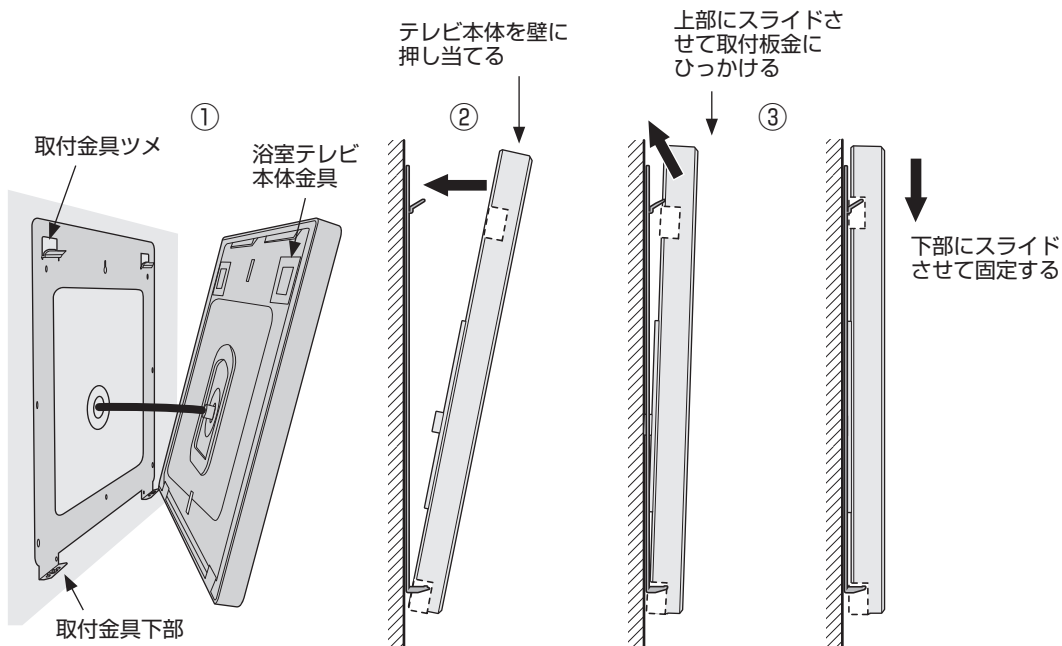
ケーブルは、無理に引っ張らないでください。

施工の際、無理に引っ張るなど強い力を加えると、断線し故障の原因となります。

①取付金具下部にテレビ本体を置きます。

②各ケーブルをケーブル類取出穴から壁面に収めながら、テレビ本体を壁に押し当てます。

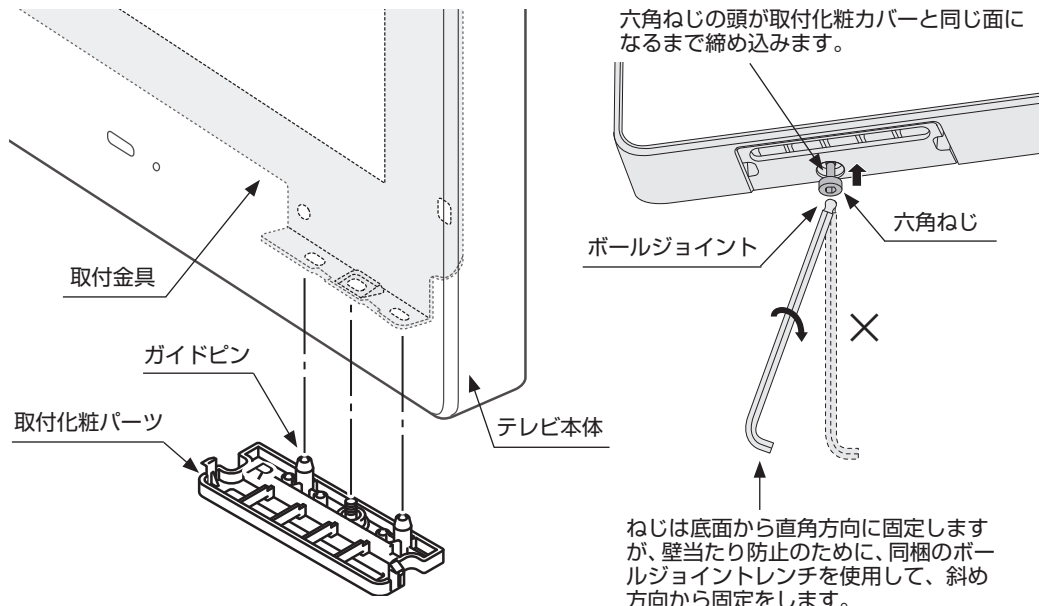
③テレビ本体を壁側に押し当てながら上下にスライドさせて、取付金具ツメを浴室テレビ本体金具に引っ掛けて固定します。



※テレビを取り外す際には、上記の取付作業と逆の手順で行ってください。

7.3. 浴室テレビ本体の取付け（つづき）

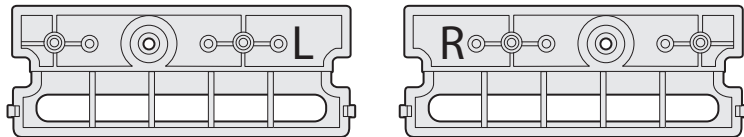
⑤浴室テレビの下部を壁側に押しつけながら、底にある固定用の穴に取付化粧カバーを取り付けます。



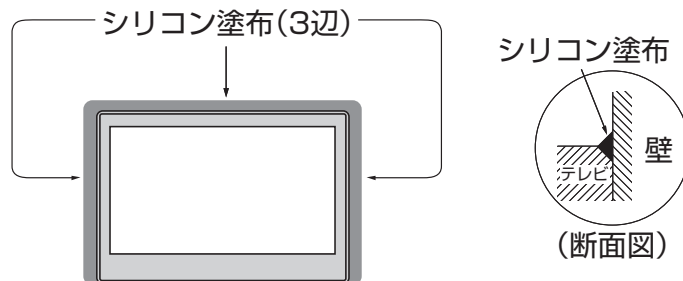
テレビ本体と取付金具の穴の位置を合わせて取付化粧パーツのガイドピンを差し込みます。
化粧パーツのガイドピンが刺さりにくい場合は、テレビ本体を壁側に押し調整してください。

◆ ご注意 ◆

• 取付化粧パーツは左と右があります。取付化粧パーツの刻印でご確認ください。Lは左、Rは右です。



⑥浴室テレビ本体の3辺（上辺、左辺、右辺）にシリコンを切れ目なく塗布してください。正しく塗布されていないと、浴室テレビ裏面に水が浸入して故障や漏水の原因となります。



7.4. 電源ボックスの取付け・中継ケーブルの接続

⚠ 注意



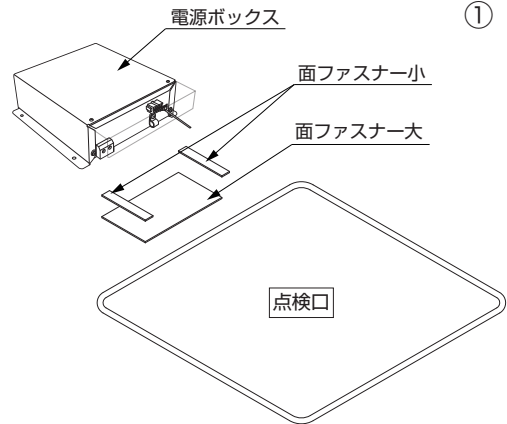
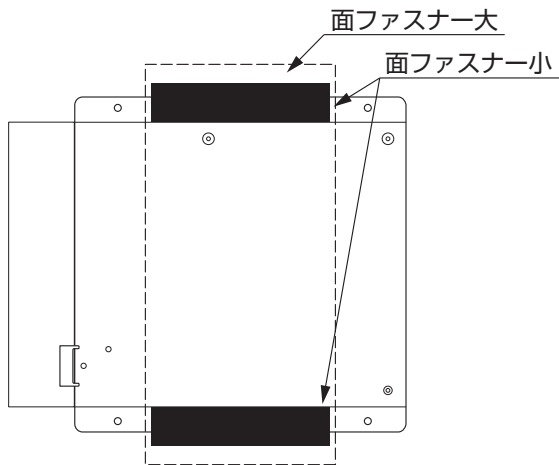
屋内開閉器(ブレーカー)を「切」にして取り付けを行ってください。
故障するおそれがあります。

必ず行う

- ①面ファスナーにて電源ボックスを天井(点検口付近)に固定します。

※電源ボックスは**天井点検口の近く**(ユニットバスの場合)など、点検しやすい場所に設置してください。

※面ファスナー小は**下図**の位置を目安に電源ボックスに貼り付けてください。

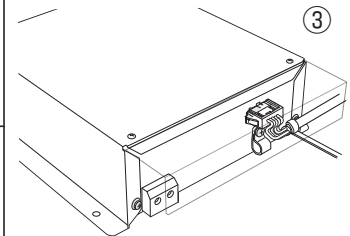
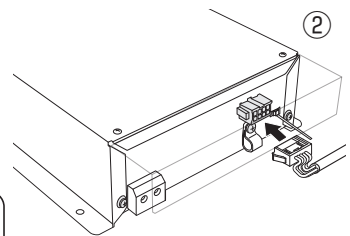


- ・電源ボックスの外郭(金属部)に他の金属を接触させないでください。
- ・電源ボックスの上には天井保温材(断熱材)をかぶせないでください。
- ・電源ボックスは水滴がかかる場所に設置しないでください。
- ・また、水の入ったものを電源ボックスの上に置かないでください。

- ②壁パネル上部の中継ケーブルのコネクタを電源ボックスのコネクタに接続します。抜けないように確実に接続してください。

- ③接続後、中継ケーブルを電源ボックスの結束バンドに留めてください。

※中継ケーブルと、その他のケーブル類を、並走させたり、束ねたりしないでください。(画像が乱れるおそれがあります)



⚠ 注意



禁止

ケーブルは、無理に引っ張らないでください。
施工の際、無理に引っ張るなど強い力を加えると、断線し故障の原因となります。



必ず行う

コネクタは正面から真っ直ぐに挿してください。
斜めに挿すとピンがまがるおそれがあります。

7.5. フルデジタルサウンドシステムとの接続

- フルデジタルサウンドシステムを選択されている場合、「7.2. 中継ケーブルの壁への仮止め」で施設したテレビ接続コードをフルデジタルサウンドシステムのデジタル音声入力端子に接続することにより、テレビ音声をフルデジタルサウンドシステムの浴室スピーカーにてお楽しみいただけます。

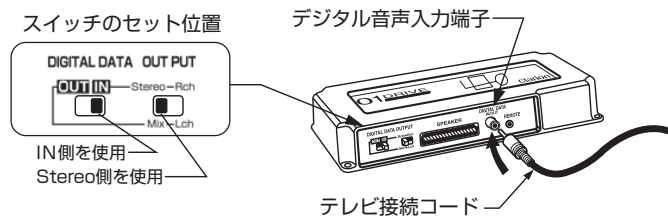
7.5.1. フルデジタルサウンドシステムへの配線

「7.2. 中継ケーブルの壁への仮止め」で施設したテレビ接続コードを、フルデジタルサウンドシステムのデジタル音声入力端子に接続してください。

7.5.2. サウンドシステムリモコンのテレビ音声入力端子への接続



制御ボックス設置前にスイッチのセット位置をご確認ください。
セット位置が間違った状態では、正常な動作ができません。

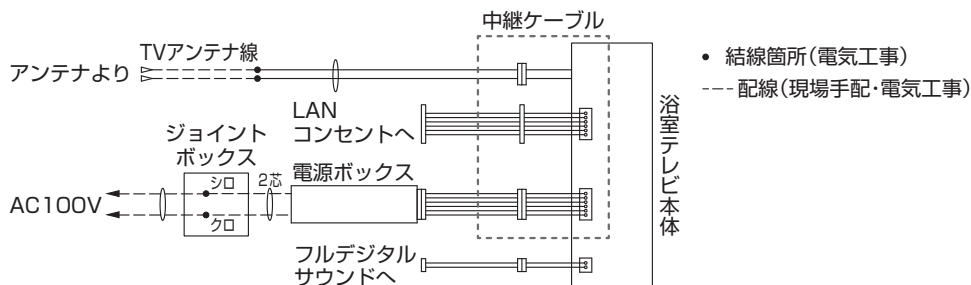


以下、別途工事

電気工事業者さまへ

8. 電気工事

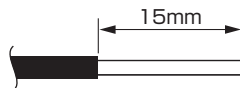
【結線図】



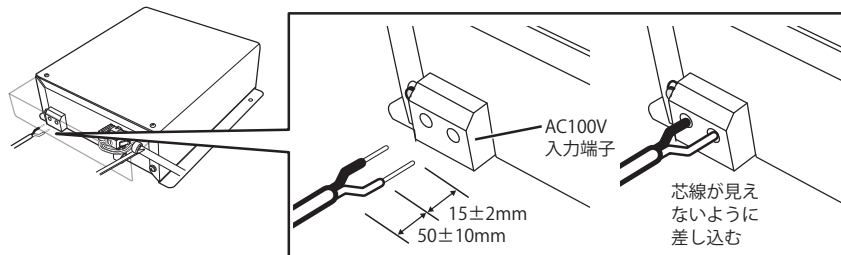
8.1. 電源ケーブル、アンテナ線の接続

8.1.1. 一次側電源ケーブルの接続

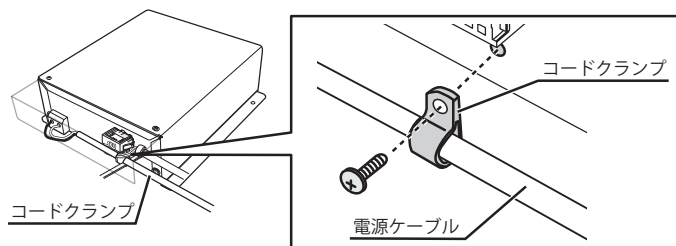
- (1) 電源 (VVF) ケーブル (AC100V) の被覆を 15mm むきます。
※ AC100V 入力端子にゲージがついています。
※ 適合径 $\phi 1.6$ 、 $\phi 2$



- (2) 電源ケーブル (現場手配) を端子台へ差し込みます。



- (3) 電源ケーブルをコードクランプにて固定します。



電源ボックスに AC100V を供給する電源ケーブルは、屋内にあるブレーカーに接続されていること、および、そのブレーカーは「遮断時に接点遮断距離が 3mm 以上あり、全極を同時に遮断する配線用遮断器」となる構造を備えていることを確認して接続してください。

警告

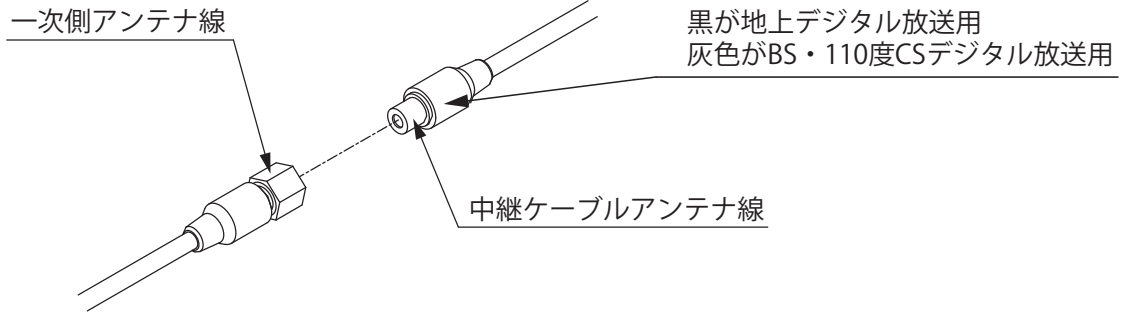


必ず行う

- 必ず漏電遮断器および屋内開閉器のある電路に接続してください。
- ※ホコリ等により火災のおそれがあります。

8.1.2. アンテナ線の接続

テレビアンテナからきている一次側アンテナ線を中継ケーブルアンテナ線に接続してください。



警告

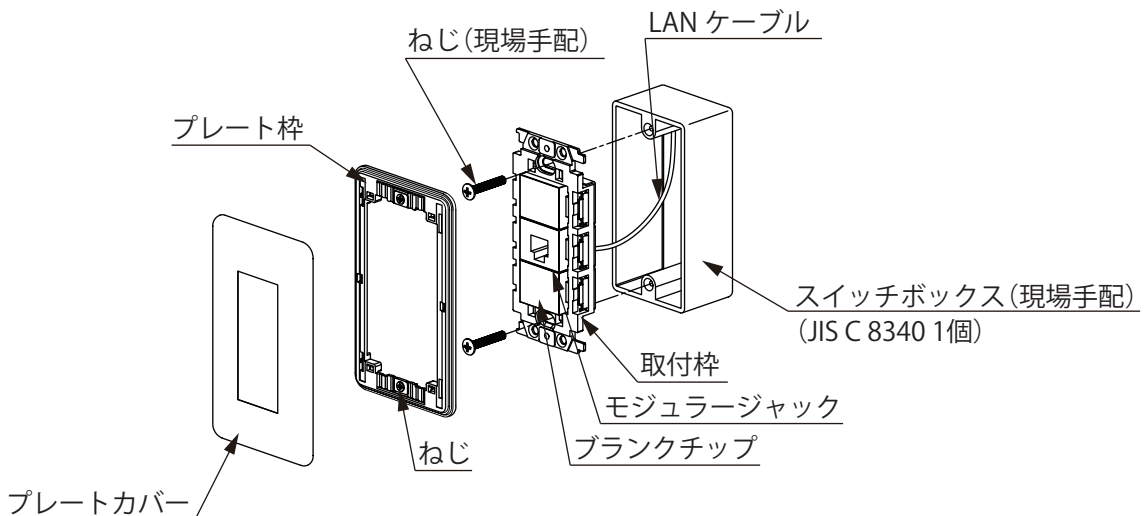


- ・一次側アンテナ線のコネクターはF型プラグとしてください。
- ・アンテナ端子への入力電界は70dB μ V(-39dBm)を目安にしてください。
- ・アンテナ入力には、電流非通過型の分配器を用い、過度な電流が流れないようにしてください。

(以下は外部機器コードセットを選択した場合のみ)

8.2. 外部機器接続コードセットの壁への取付け

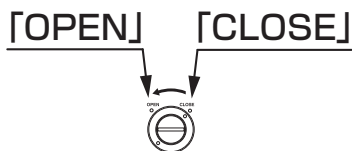
- ①浴室天井裏からLANケーブルを引き込む。
(取付ける壁位置にはスイッチボックス(市販品)等を設けておく)
- ②取付枠にモジュージャックとブランクチップを取り付ける。
- ③モジュージャックにLANケーブルを接続し、スイッチボックスに取付枠を取り付ける。
(市販のねじ2本使用)
- ④プレート枠を取付枠にねじ止める。
- ⑤プレートカバーをはめ込む。



9. リモコンを準備する

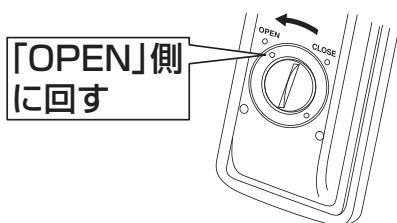
◆リモコンにボタン電池を入れる

- 電池ふたはコインなどを使い開けます。
- 電池ふたを開閉する場合は、ねじの開ける方向と閉める方向についてご注意ください。



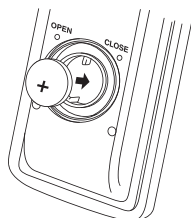
1 電池ふたを取りはずす

- 電池ふたをコインなどで「OPEN」の方向へ回します。
- 電池ふたを取りはずします。



2 電池を入れる

- 付属のボタン電池（CR2032）の⊕の表示を上にしてください。



3 電池ふたを取り付ける

- 電池ふたをのせます。
- 電池ふたをコインなどで、押さえるようにしながら「CLOSE」の位置まで確実に回します。（「●」点を合わせてください）



◆ご注意◆

- 水滴などが電池ふたのまわりやリモコン本体についていないか確認してください。
- 水滴がついている場合は、柔らかいタオルなどで必ずふき取ってください。
- リモコンに水滴がついたままで電池ふたを取りはずすと、水滴がふたの内部に入り、故障の原因となります。
- 浴室の外など乾燥した部屋で行ってください。
- ふたを取り付けるときは、髪の毛やごみなどが挟まらないようにご注意ください。
- 付属のボタン電池は動作確認用です。動作期間を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

10. 試運転

⚠ 注意

- 本製品に付属のminiB-CASカードは、電気工事業者様が、浴室テレビ本体に挿入しないでください。お客様に差し込んでいただく必要があります。
- 取付け時にお客様によりminiB-CASカードが挿入されていない場合、浴室テレビに映像も音声も出ません。チャンネルの受信設定は可能です。

・屋内開閉器（ブレーカー）を「入」にして、次のことを確認してください。


10.1. かんたん初期設定

- ・テレビ設置後、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面に従って操作・設定してください。

ネットワーク機能（インターネットやIPTVなど）をお使いになる場合は

- ・ブロードバンドルーターとLAN コンセントを市販のLAN ケーブルで接続してください。

かんたん初期設定の画面が表示されないときや、引越しなどで設定をやり直すときは

- ・ホーム画面から「設定」－「（視聴準備）」－「かんたん初期設定」を選んでください。

▼画面例



◇ お知らせ ◇

- ・設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。



1

電源を入れる

電源の入れかた

- ・⇒取扱説明書 19 ページをご覧ください。

リモコンの取り扱いかた

- ・⇒取扱説明書 12 ページをご覧ください。



2

メッセージを確認する

- ・途中で設定を中止するときは、電源をお切りください。



「B-CAS カードを正しく挿入してください。」と表示されたときは

- ・⇒取扱説明書 14 ページの手順に従って miniB-CAS カードの挿入をお客様にご依頼ください。
- ・miniB-CAS カードを挿入しないときは、そのまま決定し、次に進んでください。

3

メッセージを確認して決定ボタンを押す



- ・アンテナ線を接続していない場合は、いったん電源を切り、⇒15 ページの手順に従って接続してください。

4

メッセージを確認して決定ボタンを押す



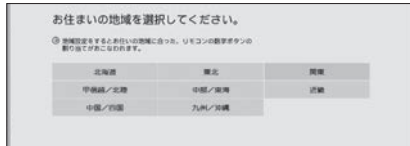
5



で選び

決定
を押す

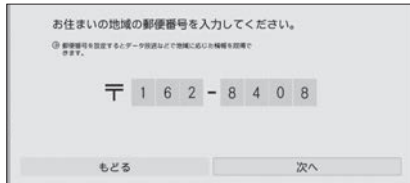
①お住まいの地域を選ぶ



②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

郵便番号を入力し、「次へ」で決定ボタンを押す

- 郵便番号設定をしない場合は「スキップする」を選び、次の手順に進みます。
- 「0」を入力するときは **10** を押します。



6

1
↓

10
↓

で入力し

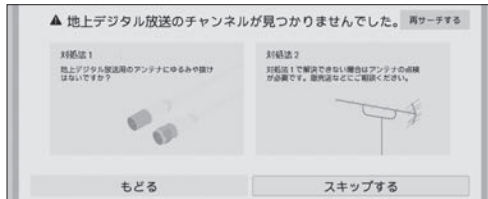
決定
を押す

7

メッセージを確認する

- 地上デジタル放送のチャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。
- 手順 **8** の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。
- 地上デジタル放送のチャンネル設定をしない場合は「スキップする」を選び、手順 **9** に進みます。

手順 7 で次の画面が表示されたときは



- 画面の指示に従って、アンテナケーブルの接続を確認してください。解決できない場合はアンテナの点検が必要です。販売店などにご相談ください。

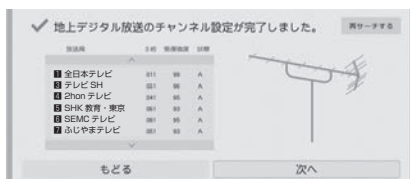
8



で選び

決定
を押す

メッセージを確認して「次へ」で決定ボタンを押す

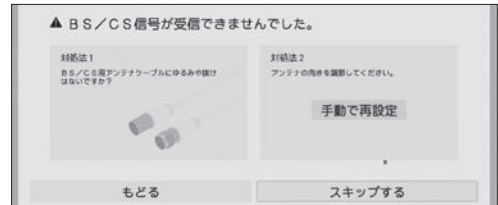


9

メッセージを確認する

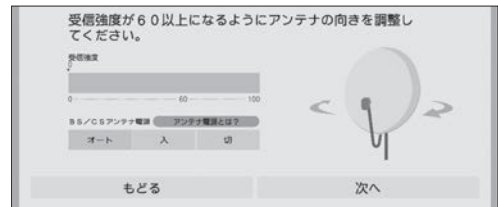
- BS・110度CS デジタル放送のチャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。
- 手順 **10** の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。
- BS・110度CS デジタル放送のチャンネル設定をしない場合は「スキップする」を選び、手順 **11** に進みます。

手順 9 で次の画面が表示されたときは



- 画面の指示に従って、アンテナケーブルの接続とアンテナの向きを確認してください。

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは



- 左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、受信強度が60以上になるようにアンテナの向きを調節してください。

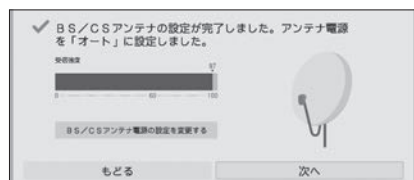
10

メッセージを確認して「次へ」で決定ボタンを押す



で選び

決定
を押す



- 「BS/CS アンテナ電源の設定を変更する」を選ぶと、アンテナ電源の設定を確認・変更できます。

11



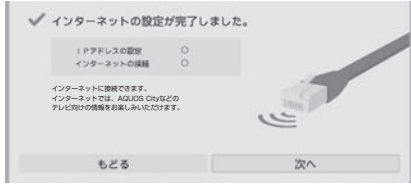
で選び

決定
を押す

①メッセージを確認する

- LAN 設定が終わるまでしばらくお待ちください。
- LAN 設定をしない場合は「スキップする」を選び、手順 12 に進みます。

②メッセージを確認して「次へ」で決定ボタンを押す



12

決定
を押す

13



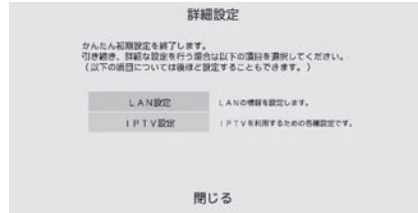
で選び

決定
を押す

メッセージを確認して「確認」で決定ボタンを押す

設定された内容を確認し、「完了」で決定ボタンを押す

- 「詳細な設定を行う」を選ぶと、引き続き下記の項目について設定ができます。



- 詳しくは、取扱説明書の 56 ページをご覧ください。

◆放送が受信できないときは

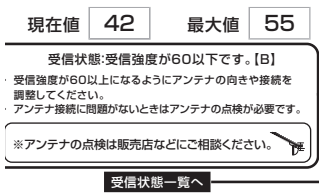
- 受信状態を受信強度で確認します。

1

ホームボタンを押しホーム画面を表示する

2

「設定」-「視聴準備」-「テレビ放送設定」-「アンテナ設定」を選び決定ボタンを押す



受信状態に応じた対処のしかたが表示されます。

「受信状態一覧へ」を選んだ状態で **決定** を押すと受信状態一覧画面が表示されます。

デジタル放送の受信強度や受信できるチャンネルなどを確認する

- 直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BS デジタル」「110 度 CS デジタル」のいずれか一方）が一覧で表示されます。

| 現在の受信状態の説明 | | | | 解決方法 | | | |
|------------|----------|--------------|--------------|------|------|------|------|
| 受信状態一覧 | 受信状態 | 受信強度 | 受信電圧 | 受信状態 | 受信強度 | 受信電圧 | 受信電圧 |
| 地上デジタル放送 | BSデジタル放送 | 110度CSデジタル放送 | 112度CSデジタル放送 | 受信状態 | 受信強度 | 受信電圧 | 受信電圧 |
| 地上デジタル放送 | BSデジタル放送 | 110度CSデジタル放送 | 112度CSデジタル放送 | 受信状態 | 受信強度 | 受信電圧 | 受信電圧 |
| 地上デジタル放送 | BSデジタル放送 | 110度CSデジタル放送 | 112度CSデジタル放送 | 受信状態 | 受信強度 | 受信電圧 | 受信電圧 |

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の受信状態一覧

現在の地域設定
お住まいの地域に設定されていない場合、地上デジタル放送を正しく受信できません。

地上デジタル放送の受信状態一覧

受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- 決定** を押します。(表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。)

受信状態一覧の画面を消すときは

- 終了** を押します。

確認したら、受信状態一覧の画面を消す

10.2. 動作確認

10.2.1. 浴室テレビ本体の動作確認

- ①音量ボタンを押して、音量調整ができる事を確認してください。
※フルデジタルサウンドシステム(デジタルスピーカー)の場合は、テレビのリモコンで音量調整ができません。スピーカー専用のリモコンにて音量調整ができる事を確認してください。
- ②数字ボタンまたはチャンネルボタンを押し、「かんたん初期設定」の中で設定した受信チャンネルが映ることを確認してください。
- ③浴室テレビの動作安定を確認するため、電源スイッチが入った状態のまま、5分間放置後、画像・音声を確認してください。
- ④テレビの電源ボタンを押して、電源が「切」になる事を確認してください。


重要



全ての作業が完了しましたら、リモコン、ボタン電池、リモコンホルダー、取扱説明書をお客さま、または建築工事責任者さまへ確実にお渡しください。

10.2.2. アンテナレベル(電波の受信状態)の確認方法





チャンネルスキャン後、アンテナレベルを画面上で確認することができます。


- ①「ホーム画面」-「設定」-「 視聴準備」-「テレビ放送設定」を選択してください。
- ②「アンテナ設定」を選択してください。
- ③カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定ボタンを押してください。
- ④「受信状態: アンテナ信号は良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。
※「受信状態: アンテナ信号は良好です。【A】」と表示されないときは、下記表の中から適切な処置を行ってください。

| 画面に表示されるエラーメッセージ | 対処の仕方 |
|--------------------|---|
| 受信強度が 60 以下です。【B】 | • 受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。 |
| アンテナ信号が強すぎます。【C】 | • アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。 • ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。 |
| アンテナ信号が不足しています。【C】 | • ブースターの調整や取り付けが必要です。 |
| アンテナ信号が良くありません。【D】 | • アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認してください。 |
| 受信できません。【E】 | • アンテナが正しく設置されているか確認してください。 • アンテナ線を確認してください。 • アンテナの設定が合っているか確かめてください。 |

10.2.3. 試運転の際、故障かな?と思ったら

詳しくは取扱説明書の「故障かな?と思ったら」のページをご確認ください。

| こんなとき | ここをお確かめください |
|--|---|
|  <p>映像も音声も出ない</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内開閉器（ブレーカー）が「切」になっていませんか。 ・ POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 |
| <p>リモコンが動作しない</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 ・ 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。脱衣室の電源スイッチを「切」にし、約1分放置した後、再度電源スイッチを「入」にし、本機の電源を入れ直してください。 ・ 電池の⊕⊖が逆になっていませんか。 ・ リモコン受光部に向けてお使いですか。 |
|  <p>映像は出るが音声が出ない</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 音量調整が最小になっていませんか。 ・ 「消音」状態になっていませんか。 ・ フルデジタルサウンドシステム（デジタルスピーカー）を接続したときは、フルデジタルサウンドシステムのリモコンで音量を調整してください。 ・ フルデジタルサウンドシステム（デジタルスピーカー）の電源は入っていますか。 |
| <p>テレビ放送と各入力の音量が違って聞こえる</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 接続されている機器や、再生するコンテンツ等により入力される音声レベルが異なる場合があるため、音量は放送視聴、各入力で別々に設定できます。 |
|  <p>音声は出るが映像が出ない</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 映像オフが「する」になっていませんか。 |
|  <p>色が薄い 色あいが悪い</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。 |
| <p>画面が暗い</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「明るさ」、「映像」、「プロ設定」－「ガンマ設定」を調整してみてください。 |
| <p>黒色が潰れる</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「明るさ」、「黒レベル」、「プロ設定」－「ガンマ設定」を調整してみてください。 |
| <p>画面がちらついたりざらついたりする</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「プロ設定」の「デジタルNR」を、「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。 |
| <p>画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品の温度が上昇したためです。 ・ シャープお客様相談室にご相談ください。 |
| <p>ときどき「ピシッ」と音がする</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 温度の変化により、本体がわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。 |

| こんなとき | ここをお確かめください |
|------------------------|---|
| 時計表示が画面に出ない | <ul style="list-style-type: none"> • リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押ししてみてください。 • 「設定」－「機能切換」－「画面表示設定」－「時計／画面表示設定」の「時計表示」の設定は「する」になっていますか。 |
| 時計表示が消えない | <ul style="list-style-type: none"> • リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押ししてみてください。 • 「設定」－「機能切換」－「画面表示設定」－「時計／画面表示設定」の「時計表示」が「する」に設定されていませんか。「しない」に設定してください。 |
| 字幕表示が画面に出ない | <ul style="list-style-type: none"> • 放送によっては、字幕を送っていない場合があります。 • 字幕の表示方式が「表示しない」になっていませんか。 |
| 電源が勝手に切れる | <ul style="list-style-type: none"> • 自動で電源がオフになるモードになっていませんか。受信機レポートで確認してください。 |
| テレビ画面がくもる | <ul style="list-style-type: none"> • 自然現象でテレビ画面がくもることがありますが、故障ではありません。しばらくすると、自然にくもりが取れます。 |
| ホームネットワークに切り換えることができない | <ul style="list-style-type: none"> • 「設定」－「 (視聴準備)」－「通信 (インターネット) 設定」－「LAN 設定」が正しく設定されているか確認してください。 • ホームネットワーク (DLNA 認定サーバー) 機器の電源が切れていないか確認してください。なお、ホームネットワーク (DLNA 認定サーバー) 機器によっては電源が切れている状態でもホームネットワークを使用できる機能があります。機能の有無や設定方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。 |

株式会社 LIXIL

Printed in China

TINS-H079WJZZ 19P01-CH-NI



品番 PPU-1312(19030)